

# オゾン発生器

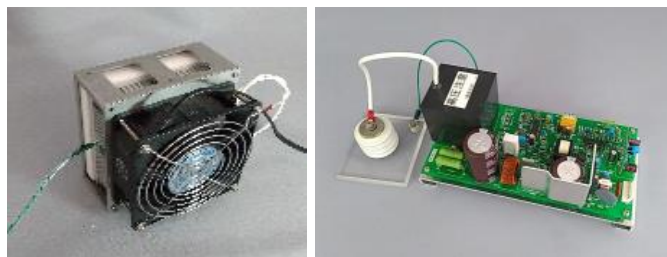
# OZK-EPIII-105A-AC

## 特徴

- ・空冷式オゾン発生器（組み込み用途）
- ・オゾン発生量 最大 8 g/h
- ・オゾン濃度 最大 140 g/m<sup>3</sup>(nor.)
- ・接ガス PTFE/FKM/セラミックス(タングステン)
- ・高耐久性、高寿命
- ・当社の独自技術 沿面放電素子を採用
- ・電源電圧(90~110V)の変動がオゾン濃度に与える影響が少ない
- ・高電圧回路 過負荷/短絡時、高電圧出力停止・アラーム出力(接点出力)

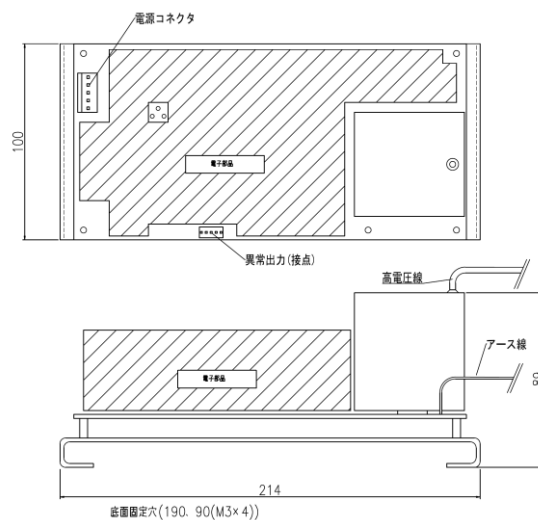
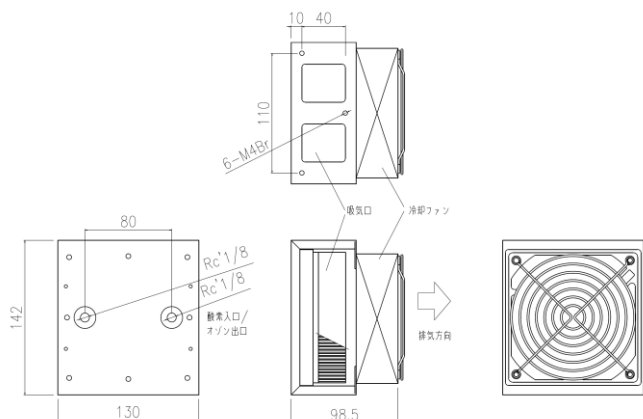
- ・オゾン発生量可変(オプション)
- ・過熱異常出力(接点出力) (オプション)

写真(左:オゾン発生部、右:高周波高電圧電源)



(写真の碍子付き樹脂板は付属しません)

## 外形図



## 性能

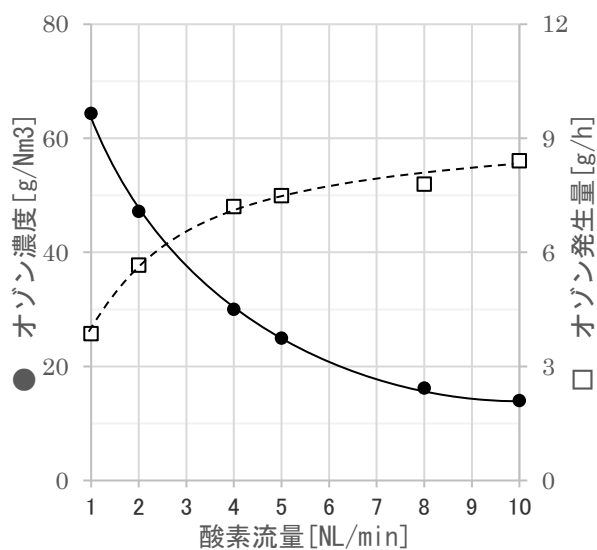


図1 標準的なオゾン発生能力(1)  
(周囲温度 20°C)

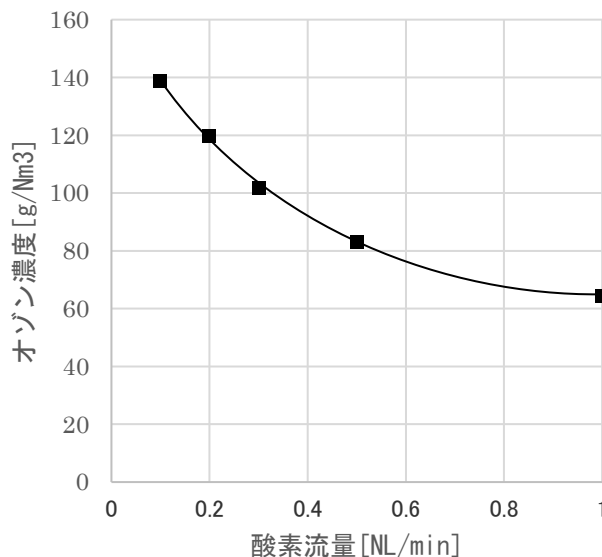


図2 標準的なオゾン発生能力(2)

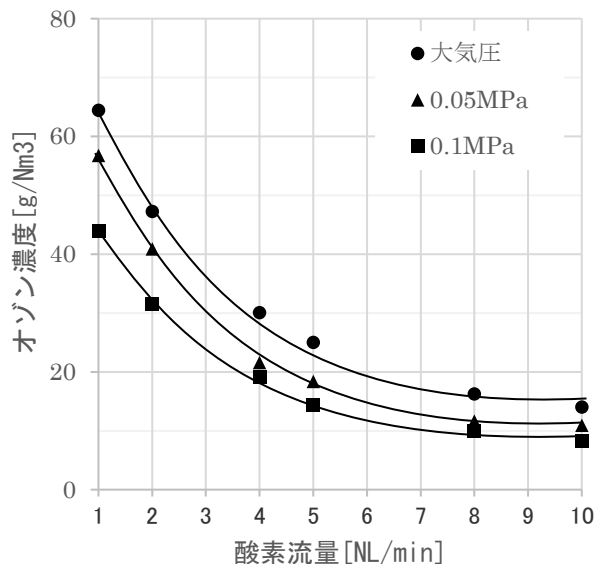


図3 圧力の違いによるオゾン発生能力

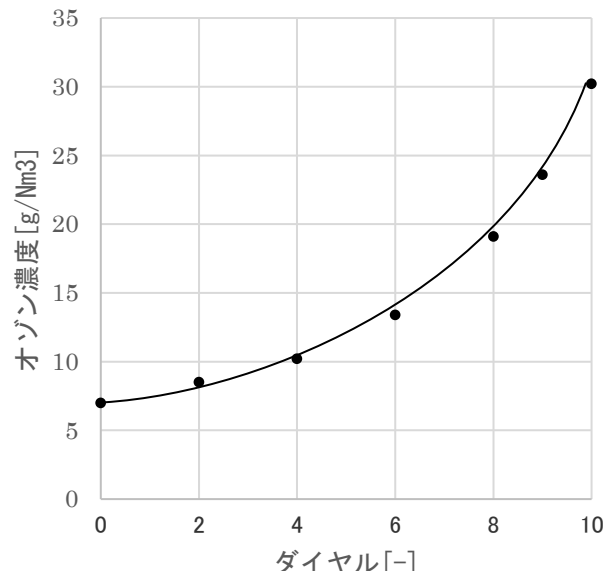


図4 (オプション)出力調整ダイヤルとオゾン濃度(4L/min)

電圧	交流 100V
周波数	50 または 60Hz
消費電流	最大 2.5A
消費電力	最大 150W
(高電圧)出力電圧	最大 12.5kV(ピーク～ピーク値)
(高電圧)周波数	9.9kHz
電波法	適用除外
保護機能	高電圧過負荷／短絡時出力停止

原料ガス	酸素(一般工業用、PSA)、乾燥空気
ガス接続口	Rc' 1/8 (オプション' 1/4)
接ガス材料	PTFE(本体) FKM(オリングまたはパッキン) 平板型沿面放電素子 (セラミックス、タングステン)
オプション	出力調整ダイヤル 過熱時異常(サーモスタット)

- ・高電圧およびオゾンに十分な知識がある方を対象としています
- ・1万時間または1年経過毎にシール材料の交換、点検をご用意ください
- ・環境空気による冷却(空冷)の為、周囲温度の上昇によりオゾン濃度が低下することがあります
- ・アースは、大地に接地された端子に必ず接続してください。高電圧を使用するため危険です。
- ・電源側に過電流遮断器(ヒューズなど)を必ず設けてください。万一の故障時に焼損する可能性があります

型式	OZK	EPIII	105A	AC	(-オプション)
(用途)		電源型式	放電素子型式	冷却方式	オプション
OZK:組み込み用途		EPIII	・105A:平板型口10cm ・20:円筒型 φ20mm (グレーアウト品は、別カタログにてご紹介しております)	・AC:空冷 ・WC:水冷	・POT:出力調整ダイヤル ・TH:サーモスタット(60°C)



株式会社 増田研究所

E-mail: info@masuda-research.co.jp (代表)

本社

工場

(修理返送先)

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-11 かねやすビル6階

TEL: 03-3818-0472 FAX: 03-3818-9818

〒373-0819 群馬県太田市新島町 341-4 開発センター

TEL: 0276-49-0474 FAX: 0276-49-0473

yyamada@masuda-research.co.jp (担当:山田)